

## 野球の全国優勝メンバーに 土田さん



メダルを手に全国優勝を喜ぶ土田さん

妹背牛中学3年生の土田留生<sup>い</sup>さんが3月17日、町役場を訪れ、「コントリビュートカップ第27回全国中学生軟式野球大会（U・14）」（3月、千葉）で北海道選抜が優勝したことを報告しました。

土田さんは空知管内唯一の選抜メンバーとして投手で活躍。最速125キロのストリークを武器に、16チームが戦った全国大会で北海道選抜の優勝に貢献しました。

この日、滝本昇町長と懇談した土田さんは「ピンチの時に支え合える最高の仲間と優勝できてうれしいです」と、喜びを語りました。

## 指導農業士・農業士に3人が認定



滝本町長（左）に指導農業士・農業士の認定を報告する、右から伊藤さん、関吉さん、神藤さんの3人

地域農業の振興や担い手育成に取り組み、北海道指導農業士・農業士に選ばれた3人が3月18日、町役場を訪れ、滝本昇町長に認定を報告しました。

認定を受けたのは、指導農業士の関吉淳さん、農業士の伊藤達矢さんと神藤武志さんの3人。2月に札幌市で開催された称号贈呈式に出席し、それぞれ認定証を受け取りました。

農業の発展に向けた抱負を語る3人に対し、滝本町長は今後の活躍に期待を寄せ、激励の言葉を贈りました。

## 妹背牛消防団に3人入団



消防団員としての決意を述べる、左から川村さん、荒瀬さん、小金さん

妹背牛消防団は4月10日、妹背牛消防庁舎で令和8年度総会を開き、新たに3人の消防団員を任命しました。

3人は、川村健太さん、荒瀬康弘さん、小金昇平さんで、拝命は4月1日付。この日、中易利則団長から任命を受けた後、川村さんが消防団員としての決意を述べました。

また、消防団員・職員親睦会の総会を兼ねた席上では、新年度の事業計画案などが採択されました。

## 妹背牛町の交通安全を願って



関係者が交通安全を願った祈願祭

令和8年度の交通安全祈願祭が4月6日、妹背牛神社で開かれ、参列者36人が町の交通安全を願い、神前に玉ぐしをさげました。

祭事後に町交通安全推進委員会の総会が開かれ、会長の滝本昇町長は「皆様の努力の成果により、本年中に交通事故死亡ゼロ3千日を達成する見込みとなりました。しかし、この数字はあくまで通過点で、安全な町を次世代へ引き継ぐことが私たちの責務です」と述べました。



臨時教員の村中さん



小中一貫教育推進員の戸澤さん

## 子どもたちの学びと成長を支える2人が着任

4月から、町の会計年度任用職員として、子どもたちの学校教育を支える2人が新たに着任しました。

1人目は、教員歴37年で、今年3月まで妹背牛小学校の校長を務めていた戸澤法史さんです。小中一貫教育推進員として、多角的な視点から学校と地域の関係者をつなぎ、小中9年間の学びのあり方について調査・研究を進めます。

戸澤さんは「人に恵まれた教員生活でした」と振り返り、「退職後も間接的に妹背牛の子どもたちと関わることがうれしいですね」と話しています。

2人目は、複式学級解消のため、町の臨時教員として妹背牛小学校に勤務される村中菜緒さんです。子どもたちと同じ目線に立ち、勉強や学校を好きになってもらえるような授業づくりに取り組んでいます。

小学校6年生から高校3年生までを妹背牛で過ごした村中さんにとって、妹背牛小学校は母校の一つです。

教室のスピーカーや給食の棚は当時のままだといい、「懐かしい気持ちに包まれながら、日々の成長を支えていきたいですね」と、子どもたちと向き合っています。

## 米子ちゃんのカラーレシピ集が完成



豆腐ハンバーグやポタージュスープなどの作り方を紹介したレシピ集

妹背牛産米を使った浅漬けの素「米子（よねこ）ちゃん」を製造・販売する二五八グループは、この米子ちゃんを活用したレシピ集（カラー版）を1,000部作成し、妹背牛温泉ペペルとフレッシュマーケットしんたに配布しています。

米子ちゃんは、「塩・こうじ・米」を二対五対八の割合で仕上げた無添加の二五八漬けの素。レシピ集には、10種類以上の料理の作り方を掲載しており、持ち運びしやすい手のひらサイズに折りたたまれています。

## 子ども議会発 町PRグッズ 5月に登場



町内2カ所に設置されるガチャガチャとキーホルダーのデザイン

町のPRグッズとして、昨年12月の子ども議会で提案された「ガチャガチャ」が、5月に妹背牛温泉ペペルとカーリングホールの2カ所に設置されます。

自身はキーホルダー、マスキングテープ、消しゴムの3種類。町のキャラクター「ウッチー」や「あいもちゃん」などがデザインされており、それぞれ異なる絵柄を当てるワクワク感も楽しめそうです。価格は1回400円です。